

開館時間 (火)～(金) ▶ 9 時～17 時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9 時～16 時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝祭日、年末年始

「おすすめの新书推荐」



**地球の声に
耳をすませて**
作・大木 聖子
(くもん出版)

1995年に起こった阪神・淡路大震災をきっかけに地震を科学する道に進み、現在は、東京大学地震研究所で日々地震について研究を行っている作者が、地震について学び理解することで救える命があることを教えてくれています。



ピアノはともだち
作・こうやま のりお
(講談社)

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行さん。生まれた時からまったく物が見えない視覚障害を持ちながらも、すばらしい演奏で人々に感動を与える彼の生い立ちや、音楽との出会いと真摯な姿勢が描かれています。



夏の虹
作・高田 郁
(角川春樹事務所)

舞台は、人情深い江戸下町。激動の人生を歩みながらも人の幸せを願い、腕をふるう若き女料理人・澤。誠実に料理の道を進む澤を取り巻くあたたかな人々。みつくり料理帖シリーズの最新作。

文中に登場する料理のレシピが巻末に掲載されています。

「その他おすすめの本」

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆ふうりん作り

日時 7 / 7 (土) 10時30分～、13時30分～

◆おりがみあそび

日時 7 / 14 (土) 10時30分～、13時30分～

◆メルヘンタイム

日時 7 / 21 (土) 10時30分～、13時30分～

◆コースター作り

日時 7 / 28 (土) 10時30分～、13時30分～

◆貯金箱作り

日時 8 / 4 (土) 10時30分～、13時30分～

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時

7 / 10 (火) 『ベビーマッサージ』

(助産師 西坂 恵さん)

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜 (祝日休み) 10時～12時

場所 多久市児童館

◆園庭開放 (杉の子保育園内)

日時 月～土曜日 (祝日休み) 9 時～14 時

◆子育て相談 (電話相談可)

日時 月～土曜日 (祝日休み) 9 時～17 時

このゆびとまれ

☎74-3241 (中央公民館)

子育てのこといっしょにお話しませんか。

◆浴衣を着よう

日時 7 / 3 (火)、8 / 7 (火) 10時～12時

【課題図書がそろいました】

今年度の青少年読書感想文全国コンクールの課題図書がそろいました。課題図書の貸し出しは、みなさんに広く利用してもらえるように、ひとり2冊まで、1週間でご返却ください。

その他の図書については、ひとり3冊まで、10日間の貸し出しとなっています。

【7月の休館日】

2 日(月)、9 日(月)、16 日(月)
23 日(月)、30 日(月)

児童向き

- ◆ココロ屋 (梨屋 アリエ)
- ◆地をはう風のように (高橋 秀雄)
- ◆わたしのひかり (パンク)
- ◆ダーウィンと出会った夏 (ケリー)
- ◆オン・ザ・ライン (朽木 祥)

一般向き

- ◆ハナシはつきぬ! (田中 啓文)
- ◆虚空の冠 (楡 周平)
- ◆プロフェッショナルの情報術 (喜多 あおい)
- ◆中国歴史地図 (朴 漢済)
- ◆窓を開けなくなった日本人 (渡辺 光雄)

人権教育 No. 183

とも生きに

「インターネットと人権」

インターネットは、知りたい情報を、誰でも簡単にすぐ手に入れられる情報メディアとして、今の私たちの生活にはなくてはならない存在となっています。しかし、そのインターネットを悪用して、他人の人権を侵害する事件が後を絶ちません。

佐賀県内では、インターネットによる犯罪から子どもたちを守るために、ネットパトロールが実施されています。平成23年8月から平成24年1月の間に、県内の子どもたちが書き込みを行っていると思われるコミュニケーションサイトやプロフィールサイトを検索したところ、1,858件のスレッド(電子掲示板内に立てられたひとつの話題)数が確認され、そのうち不適切な書き込み件数は1,096件でした。不適切な書き込みとは、誹謗中傷、わけつけな言葉、

自身や他人の個人情報の開示、違法・犯罪行為などです。書き込みの約6割が不適切な内容ということですが、インターネットの環境の中では、自分の名前や顔を知られることなく自由に発言することができます。そのため、面と向かっては言えないような悪口を平気で掲示板などに書き込み、他人の実名を挙げて誹謗中傷する事件が多発しています。実際、書き込みを苦に自殺を図るといった事実も発生しています。

インターネットの世界は、現実とかけ離れた世界のように考えられていますが、それを見ているのは、現実の人であることを忘れてはいけません。また、インターネット上での法に触れる不適切な行為は、現実世界では検挙される可能性があることを子どもたちに伝える必要があります。そして私たち大人も、日頃の人との接し方や社会生活におけるマナーやルールなど、今一度見直してみる必要があるのではないのでしょうか。

社会教育指導員 野中久美子